

公益社団法人 東京都臨床検査技師会令和4年度第10回理事会議事録

日時：令和5年2月15日（水）19時00分～21時00分

場所：都臨技事務所 オンラインWeb会議システム（Zoom ミーティング）

議長：原田

議事録作成：神田

出席：

（東京都臨床検査技師会事務所にて参加）7名

浄土、竹澤、近藤、堀口、末永、高橋監事、佐野監事

以下の出席者は、Web会議システム「Zoom ミーティング」により参加した。

（自宅より参加）12名

原田、杉岡、中村、米山、三橋、山方、加藤、飛知和、星野、相馬、近藤、岩瀬、

（職場から参加）9名

平木：勤務先 東京都新宿区河田町 8-1 東京女子医科大学病院 中央検査部

米谷：勤務先 東京都三鷹市下連雀 5-4-1 杏林大学保健学部臨床検査学科

浅野：勤務先 東京都足立区江北 4-33-1 東京女子医科大学附属足立医療センター 検査科

畑田：勤務先 東京都渋谷区神宮前 4-3-6 伊藤病院 診療技術部 臨床検査室

市川：勤務先 東京都西新宿 6-7-1 東京医科大学病院 輸血部

山崎：勤務先 東京都江戸川区船堀 4-1-1 タワーホール船堀 6階 江戸川区医師会医療検査センター 総務課

府川：勤務先 東京都港区虎ノ門 2-2-2 国家公務員共済組合連合会虎の門病院 中央検査部

牧子：勤務先 東京都江戸川区船堀 4-1-1 タワーホール船堀 6階 江戸川区医師会医療検査センター

遠藤監事：勤務先 東京都千代田区神田神保町 1-48 税理士法人 MY ユニット

計 28 名

議事の経過の要領およびその結果

定刻

東京都臨床検査技師会会長 原田典明は議長席につき、Web会議システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認の後、理事会の開会を宣し、以下の議事に入った。

1. 議事録

- ・令和4年度第9回理事会議事録が承認された。
- ・2022年度第11回執行理事会議事録が承認された。

2. 報告事項

1) 学術部

(1) 学術部会

・2月9日に行った生理検査研究班の研修会で、事前申し込みをしていない会員が参加していた。高野班長から、参加を認めても良いのか確認があったが、事前登録を行った本人以外は認めず、生涯教育の付与も認めないこととした。またウェビナー参加のURLを譲渡した会員に対しては厳重注意とする。

(2) 編集委員会

- ・会誌の2月号は昨日確認し、ホームページから閲覧が可能となっている。
- ・タスク・シフトに関するシリーズで初回は教育現場を取り上げ、昭和医療技術専門学校の山藤先生に記事の依頼をした。しかし、実際の教育の現場ではタスク・シフト教育が思いのほか進んでおらず内容について再検討を行っている。
- ・6月号に掲載予定のタスク・シフトのシリーズは第17回東京都医学検査学会で発表して頂いた今村先生に依頼をし、承諾を頂いた。
- ・来年度の会誌製作見積書を浄土会計部長に提出した。

(3) 精度管理調査委員会

- ・2022年度の精度管理報告会開催案内をホームページに掲載した。日臨技の登録も完了しており2月20日から公開となる。
- ・今回は回答スライドをそのままホームページに掲載するのではなく資料のリンク先を掲示するようにした。

(4) 生涯教育制度実行委員会

・2023年1月分の報告がなされた。学術研究班研修会が6回開催され、延べ699名の参加があった。自己申告会場研修12月分は1件で延べ76名分の申請があり、1月分は3件で延べ4名の申請があった。

2) 学会運営部

(1) 第18回東京都医学検査学会

- ・1月24日にUDXの担当者と打ち合わせを行い、使用する会場についての選定を行った。シアターは飲食が厳禁であるためランチョンセミナーの開催が難しく、6階1部屋をランチョンセミナー用にのみ借りることを考えている。今までの実績もあり、前回と同等の割引率で借りることが出来る見込みである。
- ・浅野理事より、特別講演を担当して頂ける先生について川嶋朗先生に「温活について」の講演を依頼し内諾を頂いた旨の報告があった。
- ・竹澤理事より、LINEで学会ポスターが閲覧できるようにしたが、名前の順が大会長、事務局長、実行委員長になっており、印刷時には大会長、実行委員長、事務局長の順にした方が良い旨の意見があった。

3) 支部運営

(1) 都臨技オリエンテーション

- ・新型コロナウイルスが落ち着いてきたこともあり開催するかについて検討したい。具体的に話は進んでいないが、あまり時間的な余裕もないため、方向性が決まれば早々に調整していきたい。

(2) タスク・シフト/シェア講習会

- ・2月12日と2月19日に講習会を開催する。
- ・3月以降、直腸肛門検査と内視鏡検体採取検査の担当していただく医師に変更が生じる。3月の開催は3月12日を予定している。
- ・4月以降は2回開催するため講師の先生と日程調整を進めている。
- ・今月12日の講習会から教育施設の方が参加される。毎回2名ずつの参加になる予定である。教育施設の方は体験すればいいというわけではなく、習得することを念頭に参加されるため、何度も参加する予定となる。
- ・診療放射線技師会の学術集会でタスク・シフト/シェア講習会についてのパネルディスカッションにパネラーとして参加した。タスク・シフト/シェアの経緯と講習会をどのように行っているかについて話した。

(2) 選挙管理委員会

- ・報告事項なし。

4) 地域保健共催事業部

(1) 地域保健共催部会

- ・看護フェスタの申し込みを1月31日に行った。内容はVRを使用した認知症セルフチェッカーを行う事にした。
- ・当日は検査技師会紹介パンフレット等を配布する予定である。今後は4月に看護協会で全体ミーティングが行われる予定。
- ・卒業生に対する技師会入会案内を2月10日に印刷し各学校に配布を行った。
- ・日臨技から社会人アドバイザー交流会の募集があった。3月17日に福生の高校で行う予定であり西支部の沖倉幹事に担当していただく。
- ・原田会長より、アドバイザー事業は都内の高校を対象とするものが多いため、窓口を日臨技から都臨技へ移行する旨説明があった。

(2) STI 予防委員会

- ・2月9日に第6回STI予防委員会を開催した。
- ・性の健康医学財からZ世代の性の健康に関する活動というテーマで財団の季刊誌への寄稿依頼があった。全国の中学校、高校に配布されるため、予防教室の申し込み案内はせず、予防教室の活動内容の報告として掲載を進めていく。
- ・3月4日、青砥中学校で予防教室を開催する。
- ・副委員長の候補者が辞退したため、新たに副委員長を選出する必要があり、委員会で検討していく。
- ・退職・移動等により退任予定の委員がいるため、代わりとなる委員の選出を当該支部にお願いしたい。

(3) フォーラム委員会

- ・2022年度都民公開講座の動画は、2月6日公開予定であったが間に合わず、昨日アップすることが出来た。ホームページ委員会に具体的な掲載場所を指示していなかったことなどが原因であった。また、当初予定の掲載場所（ポスターなどに提示してある場所）ではないため、早急にホームページ委員会に依頼し対応する。

(4) 教育施設連絡者会議

- ・本日第69回臨床検査技師国家試験が行われ、賛同された施設より各校の回答を集め模範回答を作成している。
- ・次回の開催は年度が変わってから各教育施設の意向を確認して日程を決めていく。

5) 会計部

(1) 会計部報告

- ・2023年1月の収支会計報告がなされた。
- ・複合機のリース契約について、富士ゼロックスと大塚商会の見積もりを比較検討し、購入およびリース契約について検討した結果、大塚商会とリース契約を結ぶこととした。大塚商会とは今まで取引をしてくれているためリーガルチェックは必要ないと考えている。2月中に機械の入れ替えを行い、4月から支払いを開始する契約となる。

6) 庶務部

(1) 庶務部報告

- ・会員数報告がなされた。正会員数7248名、賛助会員66社、学生会員49名、名誉会員13名。
- ・賛助会員の医歯薬出版より退会の届け出が提出された。
- ・来年度事業計画書の修正締め切りが本日までとなっている。

7) 事務局

(1) 事務局報告

- ・2023年1月の事務局報告がなされた。
- ・第72回日本医学検査学会の事務局から輸血部門と病理部門のプログラムにおけるアンケート調査依頼がきている。協力出来る方がいればお願いしたい。
- ・NPO法人の病理技術研究会から第107回日本病理組織技術学会の共催願いがきている。内容を確認したところ、共催ではなく名義使用と考えられたため後援という形でご回答した。
- ・理事の名札作成のための写真を送付していない方がいる。ドライブに名前と写真をアップしているので名前やフリガナなどの確認をして頂きたい。3月中旬に印刷をし、オリエンテーション、学会、総会などに使用できるように配布したい。
- ・賛助会員のトータル保険サービスから、アフラックの団体保険について、団体扱いの人数は今年度達成されているが、毎回団体扱い要件のギリギリになってしまうため、引き続き募集を行うためにホームページへの再掲載依頼があった。また、昨年度は10月の会誌にチラシを同梱したが、会誌が電子化され発送されないため、今年度は総会議案書と一緒に同梱することとした。
- ・超音波スクリーニング研修会から後援のお礼と報告が送付されてきた。
- ・足立区施設の栄養士から足立区在住の糖尿病療養指導士を紹介してほしいと依頼があった。技師会として個人の会員を紹介するのは難しいため、対応として日本糖尿病療養指導士認定機構に全国の糖尿病療養指導士のいる施設一覧が掲載されているためそちらを参照していただくように回答することとした。

(2) 表彰選考委員会

- ・2023年1月24日に第4回広報委員会を開催した。
- ・永年会員表彰の表彰状印刷を2018年はヤマモト企画に依頼していたが、表彰者の氏名を手書きにしていたため価格が割高であった。今回は118名の作成を行うため、同様に行うと10万円を超えてしまう。そのため今回はプリントパックに外注することにした。また、発送用の筒とゆうパックの送料が発生する。ゆうパックはゆうパック特約で少々安くなることが見込まれる。現在発送の準備を行っている。

(3) 広報委員会

- ・2023年1月分の報告書確認がなされた。

(4) 役員候補者選出委員会

- ・2月2日第5回役員候補者選出委員会を開催した。
- ・所属長承諾書の提出先が曖昧であったため、改定を行った。今後はホームページの規定を修正する。
- ・次年度の委員について8名中3名が継続可能であるが、5名については1名が欠員、4名が交代希望を表明している。後任者の選出については各支部で進めていく。

8) 副会長報告

(1) 杉岡副会長

- ・今年の5月開催予定の日本医学検査学会で、宿泊を検討している方がいれば群馬県技師会で用意して頂けるため、教えてもらいたい。
- ・4月以降、タスク・シフト/シェア講習会は他県の開催にも参加が可能となる。今後LINEで紹介していく。
- ・臨地実習指導者講習会について、理事のいる施設でも参加していないところがある。受講する準備を進めて欲しい。

(2) 中村副会長

- ・70周年記念誌は永間氏の内部構成が終了した。今週中に今後のスケジュールが提出され、今年度内に発送できるよう調整を進めている。
- ・有休財産の超過の通知については遠藤監事と阿川事務所に回答をお願いしている。
- ・公益法人に係わる書類を3月31日までに東京都に提出するため、収支予算計画書と事業計画概要、理事会の議事録を準備する。また、事業報告書を6月30日までに提出するが、監査報告も必要となるため、監査の日程調整をお願いしたい。

(3) 米山副会長

- ・特になし

9) 会長報告

- ・2月5日、東京都歯科衛生士会の30周年記念式典と前会長の叙勲祝賀会に参加した。アルカディア市ヶ谷で168名が着座し、食事もふるまわれた。当会の新春の集いは来年度中止予定であるが賛助会員からは開催の要望があり、今後は開催していくことも含め検討していく必要がある。

10) その他

- ・浅野理事より、東支部幹事の比嘉幹事が退職されるため、後任として横山隣氏を推薦する旨の説明があった。
- ・三橋理事より、都臨技オリエンテーションの開催については今後話し合いをし、開催の場合は新大久保の山手メディカルセンターを会場としたい旨、説明があった。
- ・加藤理事より、総会の開催は6月8日か9日どちらかで開催予定。会場については選定中。


3. 審議事項


- 1) 東支部幹事(横山 隣氏)の推薦について審議の結果、承認された。
- 2) 学術部研究班幹事候補者推薦(渡部 芽以氏)について審議の結果、承認された。
- 3) 臨床化学研究班研修会の共催許可願(振込期限付き)について審議の結果、承認された。
- 4) 一般検査研究班の転載許可願について審議の結果、承認された。
- 5) 新入会会員19名(新入会17名、再入会2名)について審議の結果、承認された。
- 6) 事業計画案、及び予算案について審議の結果、承認された。

以上をもって本理事会の審議を終了したので、議長は閉会を宣言し 21 時 00 分に解散した。本日の Web 会議システムを併用した理事会は、終始異常なく審議を終了した。上記の議題及び決議内容を明確にするため、この議事録を作成し議長と監事は次に署名捺印する。

2023 年 2 月 15 日 (水)
公益社団法人 東京都臨床検査技師会
議事録作成 神田裕介

議長
(原田) 原田典明 

監事
(高橋) 高橋秀治 

監事
(佐野) 佐野和三 

監事
(遠藤) 遠藤盛人 